

# IEC TC100 TA15における ワイヤレス電力伝送の標準化活動

- 新TA設立経緯
- TC100組織とTA15
- TC100国内委員会
- 開発プロジェクト

JEITA (電子情報技術産業協会)  
AV&IT標準化委員会 TC100 TA15対応標準化G

主査 江口 伸

[eguchi.shin@jp.fujitsu.com](mailto:eguchi.shin@jp.fujitsu.com)

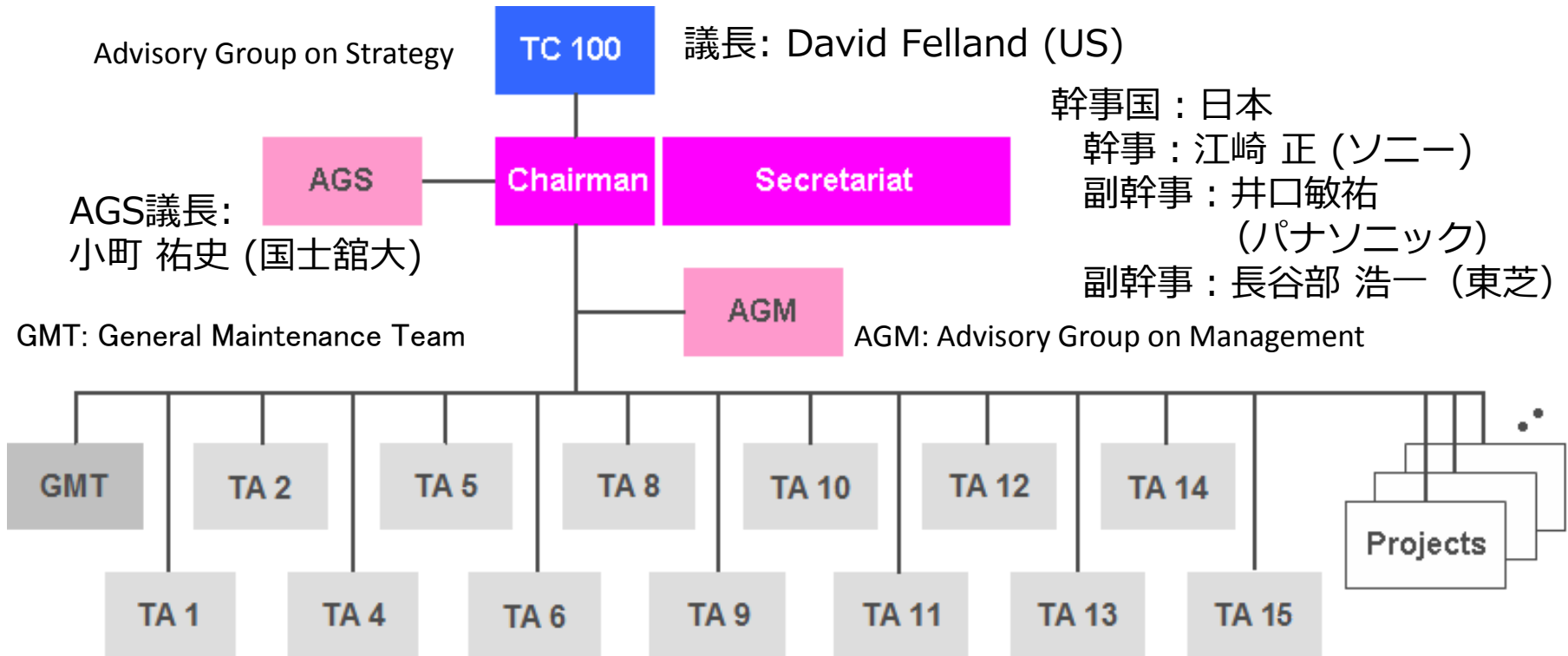
# IEC TC100 でのワイヤレス電力伝送の議論

- 2009年9月16日, SMB/4010A/DC  
SMBから新技術を議論することの要求あり、“Contactless power transmission” というトピックスとして、TC100 (Audio, video and multimedia equipment and systems) と TC96にアサイン  
(その後、半年に一度、F2Fで議論が継続)
- 2011年10月, TC100 メルボルン総会
  - 日本からTR (Technical Report) を作成するStage 0 projectが提案され、承認
  - 韓国からNP (New Work Item Proposal) 提案
- 2012年10月, TC100 ベルリン総会
  - 日本からNP (New Work Item Proposal) 提案
- 2013年6月, TC100 ロンドンAGM会合  
新規Technical Area (TA15) 設立承認

注: SMB: Standardization Management Board 標準管理評議会  
DC: Document for comments

# TC 100の組織図

## Audio, video and multimedia equipment and systems



### TAのオフィサー

- Technical Area Manager (TAM) (SCの議長相当)
- Technical Secretary (TS) (SCの幹事相当)

# TC100国内委員会



TC 100

国内委員長

安田 浩

TC 100 国内委員会



AV&IT標準化委員会

幹事会

AGS対応G

TC100対応標準化G

※G数:24

AV&IT標準化支援委員会

※21社にて構成

ケーブルネットワーク標準化専門委員会

- JEITAはJISCからTC 100国内審議委託
- 国際標準とJEITA規格を  
実質一体審議

# TA15のタイトルと適用範囲

■ Title: Wireless Power Transfer (WPT)

■ Scope:

マルチメディアシステムと機器に対するワイヤレス電力伝送 (WPT)に関連した国際的な規格類、及びWPTにおける送受信間の機能に関する相互運用性の開発。

このスコープは、下記も含む。

- WPTシステム仕様、要求条件、機能的なアーキテクチャー、インターフェース、及びこれらに相当するサービス、マネジメント、そして電力制御プロトコル
- WPTにおけるデバイス、機器及びシステムレベルでの電力消費とエネルギー効率の測定方法

■ TAM: US /Qualcomm (Dr. Kamil A. Grajski )

■ TS: Korea /KETI (Dr. Seung-Ok Lim)

[http://tc100.iec.ch/about/structure/tc100\\_ta15.htm](http://tc100.iec.ch/about/structure/tc100_ta15.htm)

# 現在のTA15の活動

- PWI 100 (PT 0) 2013.7 IEC 62869/Ed.1 発行済  
Stage 0 project on wireless power transfer

<http://webstore.iec.ch/webstore/webstore.nsf/mysearchajax?Openform&key=62869&sorting=&start=1&onglet=1>

- PT 62827 (韓国からの提案、WD段階)  
Management Protocol of Wireless Power Transfer  
for Multi-devices  
PL&Experts: 韓国(6)、米国(5)、日本(2)、英国(1)、イスラエル(1)
- PT 62857 (日本からの提案、WD段階)  
Wireless Power Transfer - multiple sources control  
management  
PL&Experts: 日本(5)、韓国(4)、米国(4)、英国(1)、イスラエル(1)  
ドイツ(1)、オーストラリア(1)、中国(1)

**ご清聴、ありがとうございました。**